

平成 26 年 5 月 7 日

上越市議会議長 瀧澤逸男様

議会運営委員会

委員長 武藤 正信

通年議会に関する検討について（中間報告）

当委員会では、通年議会の導入に向け、委員間討議や行政視察、執行機関との協議の場などにおいて、導入した場合の課題の整理を行ってきました。

つきましては、これまでの検討の経過と現時点における検討結果を中間報告としてとりまとめましたので、下記のとおり報告します。

記

1. 検討経過

当委員会では、国の議会会期制度の見直しの動きを注視するとともに、先行して会期の見直しを行った他団体の議会運営の事例調査のため、平成 24 年に小布施町議会及び四日市市議会を、平成 25 年には栃木県議会への行政視察を実施し、会期見直しの背景・経緯、見直しのメリット・デメリットなどについて具体的に調査・研究を行ってきました。

また、課題の整理に当たっては、視察先以外の先行実施の県・市・町議会に対して実態調査を行い、会期見直しの理由をはじめ、議会運営上の課題（一事不再議、専決処分など）や議員活動の変化、執行機関の事務負担の変化など導入後の実態とその対応等もあわせて調査し、議会として意見集約を行ってきました。

そのような中、昨年 12 月からは、仮に導入するとした場合に執行機関においてどのような課題が生ずるかという視点で意見を求め、議会の考え方の整理を都度行ってきました。

2. 検討結果

これまでの検討内容を集約すると、

- (1) 導入した場合に想定される課題に対する議会の考え方の整理。
- (2) 現段階における執行機関からの課題提出に対する議会の考え方の整理。
- (3) さらなる検討に当たっては、議会と執行機関との間で、意見交換等により

相互理解を深め、共通認識を持つ必要があるとの意見が提起された。

上記の内容を踏まえ、現委員の任期後も引き続き協議・検討されるよう要望して中間報告とします。

3. 別紙資料

- ・(別紙1) 通年議会の検討経過
- ・(別紙2) 平成24年度議会運営委員会行政視察報告書
- ・(別紙3) 平成25年度議会運営委員会行政視察報告書
- ・(別紙4) 通年議会の課題等に対する議会の考え方
- ・(別紙5) 行政側の課題に対する議会の考え方